

令和3年度 自己評価および学校関係者評価書

令和4年3月8日
函館市立鱒川小中学校

1 本年度の重点教育目標

「見わたし 見つめ 見つける」児童・生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- ① 保護者・地域・家庭総ぐるみの「愛情」と「規律」をもった指導
- ② 小中一貫9か年の切れ目ない指導（鱒川メリット）
- ③ 個別の指導計画に基づく特別支援教育の視点に立った教科指導・生徒指導

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
令和3年度 学校経営の重点	重点スローガン「3つのがんばりめあて」の設定	a	「語先後礼」「自立」「貢献」の指導を継続していく	A	A	
	改善サイクルの推進	a	授業アンケート等を効果的に活用し、短期改善サイクルを回していく	A	A	
	小中接続の充実	a	小中乗り入れを継続するとともに、授業一単位時間の充実を図る	A	A	
	個に応じた学習支援の充実	b	研究と関連を図りつつ授業のユニバーサルデザインを進める	A	B	より効果的な学習支援を検討し充実させてほしい
	劣後の優先順位（働き方改革の推進）	a	子どもと向き合う時間の確保に向け、引き続き業務改善を推進する	A	A	
	健康管理と体力の増進	a	コロナ感染防止および、がん教育については次年度も優先して取り組んでいく	A	A	
	授業改善の一層の推進	b	一人一台端末の効果的な活用を軸に授業改善の歩みを続ける	A	B	保護者との確認・連携の下で端末の活用を工夫していく
	保護者・地域との連携の充実	b	コロナ禍における地域との連携方法について探っていく	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。